

# 公益社団法人 日本天文学会 代議員総会議事録

日時： 2022年1月10日(月) 13時00分～17時00分

場所： 日本天文学会事務所(オンライン開催)

出席代議員：鈴木、深川、谷本、(犬塚)、野村、松下、土居、井岡、北山、縣、横山、百瀬、(大内)、梅村、一本、河野、鶴、長田、(須藤)、本間、相川、奥村、大須賀、太田、浅井、大向、秋山、大朝、津村、吉田、米徳、藤沢、江草、生田、福江、赤堀、柏川、細川、今井、山崎  
(以上40名 犬塚、大内、須藤の各代議員が遅れての参加となった。)

委任状5名(うち2名は遅刻出席の大内、須藤)

欠席代議員：榎戸、坪井、郷田

出席者：川端天体発見賞選考委員長、松村日本天文遺産選考委員長、山本会長、太田副会長、久保田副会長、町田庶務理事、鈴木庶務理事、酒向会計理事、鹿野会計理事、奥村監事、花岡監事、佐藤事務長、黒岩・田口谷事務長補佐が出席した。(太田副会長、鈴木庶務理事、奥村監事は代議員を兼任している。)

## I. 確認事項など

議事に先立ち、出席代議員が37名で定足数を満たし、本会が成立することが確認された。代議員でない山本会長(議長)に対する委任状は有効とし、同じく代議員でない久保田副会長に対する委任状は無効とすることが確認された。また定款に基づき、以下のとおり議長と署名人の確認がなされた。

議長：山本 智

署名人：山本 智

## II. 議題

### II-1. 公益社団法人日本天文学会 2022年度事業計画の承認(町田、資料3)

2022年度(2022年4月1日～2023年3月31日)事業計画書が提示され、賛成多数で承認された。

### II-2. 公益社団法人日本天文学会 2022年度予算の承認(酒向、資料4)

2022年度(2022年4月1日～2023年3月31日)予算案が提示され、赤字決算が継続されていることと一部事業の積立予算の減少の2点が懸念事項であることが説明された。予算案は賛成多数で承認された。

### II-3. 2021年度各賞受賞者の決定

林忠四郎賞・欧文研究報告論文賞(梅村、資料5)

受賞候補者として千葉柁司氏が推薦され、同氏の業績について説明がされた。賛成多数で承認された。

欧文研究報告論文賞(梅村、資料5)

Hashimoto et al. (2019)が推薦され、論文内容についての説明がされた。授賞理由書の

文言に修正を加えることとし、賛成多数で承認された。Inoue et al. (2018) が推薦された。論文内容についての説明がされたのち、賛成多数で承認された。

#### 研究奨励賞(細川、資料6)

稲吉恒平氏、堀田英之氏、Kenneth Christopher Wong (ケネス クリストファー ワン) 氏の三名が研究奨励賞の候補に推薦され、推薦理由について説明された。授賞理由書の文言に微修正を加えることとし、賛成多数で承認された。なお、Wong 氏の理由書に関しては、英文版も作成する予定である。

次回選考時の必要書類に関して選考委員会より、被推薦者の略歴書や招待講演等の発表リストの提出を求める意見がある事が報告された。これに対し、推薦者の準備資料の増大は、推薦意欲低下を招く可能性が代議員から指摘された。本件については、選考委員会で今後継続して検討する予定である。

#### 天体発見賞/天体発見功労賞、天文功労賞(川端、資料7)

天体発見賞・天体発見功労賞候補の推薦理由が説明され、賛成多数で承認された。また、天文功労賞(長期・短期)候補について推薦理由が説明され、賛成多数で承認された。

#### 日本天文遺産(松村、資料8)

日本天文遺産として2件(うち1件は3箇所)が推薦され、推薦理由について説明された。1件に関連し、遺産の対象として「天文学上重要であった地点」も含まれることが確認の後、2件とも賛成多数で承認された。

#### 天文教育普及賞(土居、資料9)

候補者3件(個人1・団体2)が推薦され、推薦理由が説明されたのち、ともに賛成多数で承認された。

#### II-4. 会費納入期限の延期について(酒向、資料10)

正会員(学生)と有期雇用契約の職(いわゆるポスドク)に就く正会員に対する会費免除を2022年度も再度実施する可能性を検討していることが報告された。2022年3月の時点で実施すると判断した場合には、理事会と代議員総会に諮ることとする。決定が3月と細則で規定される会費納入期限(「当該年度の4月末日まで」)に近いことから、手続きの混乱を避けるため、(i) 2022年度も特例として「5月末日まで」に変更、(ii) 正会員の学生に対する割引額適用期間も「5月末日まで」に延長、の提案がされ、賛成多数で承認された。なお2022年度も会費免除が継続されると3年連続となるため、運用は慎重に検討すべきであるとの意見が代議員より出された。

### III. 報告

#### III-1. 理事会(2021年12月25日)の報告(町田)

2021年12月25日に開催された理事会の報告がされた。本代議員総会での議題、報告事項となっていないものとして、年会実行委員、PASJ編集委員の各1名交代、2022年3月年会の準備状況、2022年9月年会のハイブリッド開催に関して説明された。

#### III-2. 定款・代議員総会細則の改正について(山本)

代議員総会の議事進行のための定款と細則の改定の進捗状況が報告された。定款の改定案について内閣府に問い合わせ検討した結果、(i) 現状の定款のまま、声明の発出などの案件が発

生する都度、特別決議とするかどうかを何らかの形で確認する (ii)現状の定款は代議員以外の出席者にも委任を認めている状態であるが、定款の改定もしくは申し合わせ等の作成により代議員のみに委任するよう変更する。以上の 2 点を基本方針とし今後時間を掛けて検討していく予定であることが説明された。

III-3. 選挙管理委員会からの報告（代議員選挙結果）（本間、資料 11）

2021 年 12 月 6 日に第 7 期代議員選挙(全て電子投票)が締め切れ、12 月 7 日に開票された。投票率はこれまでで最高の 43.4%となり、開票の結果 22 名の当選者と 2 名の補欠が決定したことが報告された。なお代議員からの質問により、最下位当選者や次点候補で得票数が同数となった場合には、選挙管理委員会による抽選で決定することが細則で明記されていることが確認された。

III-4. 男女共同参画委員会からの提案について(野村、資料 12)

オンライン開催は、子育てや介護等で時間の制約のある研究者や、経済状況の厳しい研究者の参加を促す等の利点がある。COVID-19 の終息以降対面による年会在再開された後、保育室を継続しつつも、ハイブリッド方式による年会的オンライン参加枠を残すことが提案された。会長より、今後のハイブリッド開催の継続を念頭に、ハイブリッド開催による参加者の利便性の向上と開催地の負担増加の両面から、年会担当理事、男女共同参画委員会、実務理事を中心としたタスクフォースを構成することが提案され、今後検討を継続していくことが確認された。

III-5. 日本学術会議 天文学・宇宙物理学分科会報告・IAU 報告(浅井)

天文学・宇宙物理学分科会および IAU 分科会の活動報告があった。主なものとして、(i)2021 年 12 月 13 日学術会議総会で、従前の「マスタープラン」の策定は行わず、「未来の学術進歩に向けた重要な学術研究の骨太な取りまとめ」(但し詳細は未確定)を行うことが了承されたこと、(ii)IAU 分科会において、持続可能な発展のための国際基礎科学年 2022 への対応が行われていること、が報告された。

III-6. 名簿の作成について(山本)

今後もし名簿の発行を廃止となった場合の意見収集を行った。名簿発行の廃止について特に強い反対意見は出されなかった。

III-7. 代議員の推薦制度について(鶴)

人数が少ないコミュニティからの代議員の当選が困難であることに関して、次回以降の代議員総会で推薦制度に関する議論ができないかとの提案があった。

III-8. その他

代議員総会の日程の決定後の早急な日程告知の要望があった。

[資料リスト]

資料 1 代議員総会出欠席表

資料 2 公益社団法人日本天文学会代議員総会議事録案

資料 3 公益社団法人日本天文学会 2022 年度(2022 年 4 月 1 日～2023 年 3 月 31 日)事業計画書

資料 4 公益社団法人日本天文学会 2022 年度(2022 年 4 月 1 日～2023 年 3 月 31 日)予算計画書

資料 5 2021 年度林忠四郎賞および欧文研究報告論文賞選考経過報告

資料 6 2021 年度(第 33 回)日本天文学会研究奨励賞選考過程報告

- 資料 7 2021 年度日本天文学会天体発見賞・天体発見功労賞・天文功労賞候補者推薦書
- 資料 8 2021 年度(第 4 回)日本天文遺産選考経過報告書
- 資料 9 2021 年度(第 4 回)日本天文学会天文教育普及賞の選考経過報告書
- 資料 10 2022 年度会費の納入期限延期について
- 資料 11 第 7 期日本天文学会代議員選挙 開票結果報告
- 資料 12 ポストコロナにおける年会オンライン開催に関する議論のお願い

2022 年 1 月 10 日

議長・署名人： 山 本 智 印